

2271/61686  
Tatsuo TAKAOKA



PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy  
of the following application as filed with this office.

Date of Application: June 25, 1999

Application Number: Japanese Patent Application  
No. 11-179329

Applicant(s): RICOH COMPANY, LTD.

March 17, 2000

Commissioner,  
Patent Office

Takahiko Kondo (Seal)

Certificate No. 2000-3016335



日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1999年 6月25日

出 願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第179329号

出 願 人

Applicant (s):

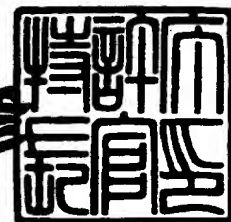
株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2000年 3月17日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特2000-3016335

【書類名】 特許願

【整理番号】 9903944

【提出日】 平成11年 6月25日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 ファクシミリ装置およびその制御方法

【請求項の数】 20

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 高岡 達夫

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代表者】 桜井 正光

【代理人】

【識別番号】 100083231

【住所又は居所】 東京都港区新橋 2 丁目 1 2 番 1 5 号 田中田村町ビル 8  
0 1 ミネルバ国際特許事務所

【弁理士】

【氏名又は名称】 紋田 誠

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 平成11年特許願第 96093号

【出願日】 平成11年 4月 2日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016241

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808572

【プルーフの要否】 要

---

---

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置およびその制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

送信操作時、F コードの入力を要求する F コード入力要求手段と、

上記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

ポーリング文書作成操作時、F コードの入力を要求する F コード入力要求手段と、

上記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 3】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

送信操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、

上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、

画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、

上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、

着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項5】 ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

送信操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、

上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、

画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項6】 ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、

ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、

上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、

着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項7】 前記ボックスにはボックス種別が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、あらかじめ指定されたボックス種別のボックスの

みを検索対象として扱うことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 8】 前記ボックスには、少なくとも親展を含む複数のボックス種別が登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、ボックス種別として親展が登録されたボックスのみを検索対象として扱うことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 9】 前記ボックスには認証のためのパスワードが登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみを検索対象として扱うことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 10】 前記ボックスには認証のためのパスワードが登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみを検索対象として扱うとともに、該当ボックスを見つけたときには、その該当ボックスに登録されているパスワードを用いた認証動作を行い、その認証動作に成功した場合にのみ、要求された操作を実行することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 11】 前記ボックスにはボックス種別および認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、あらかじめ指定されたボックス種別のボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。



【請求項 12】 前記ボックスには、少なくとも親展を含む複数のボックス種別および認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、ボックス種別として親展が登録されたボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 13】 前記ボックスには認証のためのパスワードおよび認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記 F コード入力要求手段より操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 記載のファクシミリ装置。

【請求項 14】 F コード入力要求手段の要求に応じて操作入力される F コードの確認表示は、入力された F コードの桁数のみが判明する秘匿態様表示であることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 または請求項 5 または請求項 6 または請求項 7 または請求項 8 または請求項 9 または請求項 10 または請求項 11 または請求項 12 または請求項 13 記載のファクシミリ装置。

【請求項 15】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

送信操作時、F コードの入力を要求し、操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報

として登録するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【請求項 16】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

ポーリング文書作成操作時、F コードの入力を要求し、操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【請求項 17】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

送信操作時、F コードの入力を要求し、操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する一方、

画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録された F コードを読み出し、その F コードの表示情報を、送信画像に挿入するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【請求項 18】 ファクシミリ伝送手順により受信する F コードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

ポーリング文書作成操作時、F コードの入力を要求し、操作入力された F コードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場

合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、

着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像に挿入するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【請求項 19】 ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

送信操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、

画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像に挿入するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【請求項 20】 ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、

ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、

着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像に挿入するようにしたことを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置およびその制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、ファクシミリ装置の画像蓄積機能を利用して、親展通信用の私書箱（親展ボックス）を作成し、この親展ボックスを用いた親展通信を行えるようにしたものが、主として、ファクシミリ通信サービスのセンター装置として実用されている。

【0003】

ここで、おのおのの親展ボックスには、ボックス名、パスワード、および、識別のためのコード番号（Fコード）が登録されており、送信側が親展送信を希望する場合には、伝送前手順において、親展送信を指定するための信号SUBを送信するとともに、その信号SUBのFIFには、親展宛先の親展ボックスに登録されているFコードを指定する。ここに、Fコードの形式や、利用方法などについては、通信機械工業会で定められているので、詳細な説明は省略する。

【0004】

それにより、センター装置では、受信した画情報を、信号SUBで指定されたFコードが登録されている親展ボックスへ格納する。そして、その親展宛先のユーザーは、センター装置に親展文書取り出しを指定し、Fコードを入力して取り出す親展ボックスを指定し、パスワードを入力することで、親展文書を記録出力

させるようにする。

【0005】

また、親展ボックスを指定したポーリング受信も可能である。この場合、ポーリング受信を要求するファクシミリ装置では、伝送前手順中に、選択ポーリング受信を指定するための信号SEPを送信するとともに、その信号SEPのFIFには、ポーリング受信を要求する親展ボックスを指定するためのFコードをセットする。また、認証のためのパスワードを運ぶ信号PWDもセンター装置に対して送信する。

【0006】

それにより、センター装置は、指定されたFコードの親展ボックスについて、受信した信号PWDの内容を用いて認証を行い、認証に成功すると、その親展ボックスに保存されている画情報を、ポーリング受信要求元へと送信する。

【0007】

また、この親展ボックスへの画情報の保存は、センター装置のスキャナを利用して行うこともできる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上述したセンター装置では、Fコードを利用した通信アプリケーションの他、使用者制限などの種々の管理のために複数種別の認証情報などを備えており、そのために、装置に必要となるメモリ資源が膨大になり、装置コストが高くなるという問題があった。

【0009】

本発明は、かかる実情に鑑みてなされたものであり、装置コストを低減できるファクシミリ装置およびその制御方法を提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置にお

いて、送信操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段を備えたものである。

## 【0011】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段を備えたものである。

## 【0012】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、送信操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたものである。

## 【0013】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたものである。

## 【0014】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において、送信操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたものである。

## 【0015】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置において

、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求するFコード入力要求手段と、上記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する制御手段と、着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像の各ページに挿入する送信制御手段を備えたものである。

## 【0016】

また、前記ボックスにはボックス種別が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、あらかじめ指定されたボックス種別のボックスのみを検索対象として扱う。

## 【0017】

また、前記ボックスには、少なくとも親展を含む複数のボックス種別が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、ボックス種別として親展が登録されたボックスのみを検索対象として扱う。

## 【0018】

また、前記ボックスには認証のためのパスワードが登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみを検索対象として扱う。

## 【0019】

また、前記ボックスには認証のためのパスワードが登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみ



を検索対象として扱うとともに、該当ボックスを見つけたときには、その該当ボックスに登録されているパスワードを用いた認証動作を行い、その認証動作に成功した場合にのみ、要求された操作を実行する。

【0020】

また、前記ボックスにはボックス種別および認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、あらかじめ指定されたボックス種別のボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させる。

【0021】

また、前記ボックスには、少なくとも親展を含む複数のボックス種別および認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、ボックス種別として親展が登録されたボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させる。

【0022】

また、前記ボックスには認証のためのパスワードおよび認証使用の可否情報が登録され、前記制御手段は、前記Fコード入力要求手段より操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索するとき、有効なパスワードが登録されているボックスのみを検索対象として扱うとともに、その検索で見つけたボックスに認証使用不可が登録されているときには、その検索を失敗させる。

【0023】

また、Fコード入力要求手段の要求に応じて操作入力されるFコードの確認表示は、入力されたFコードの桁数のみが判明する秘匿態様表示を適用する。

【0024】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方

法において、送信操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録するようにしたものである。

## 【0025】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録するようにしたものである。

## 【0026】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、送信操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録する一方、画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像に挿入するようにしたものである。

## 【0027】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボック

スを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたFコードを読み出し、そのFコードの表示情報を、送信画像に挿入するようにしたものである。

## 【0028】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、送信操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、その送信操作を許可するとともに、その送信操作にかかる送信ジョブを管理するための文書管理情報には、そのときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、画情報送信時、上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像に挿入するようにしたものである。

## 【0029】

また、ファクシミリ伝送手順により受信するFコードに対応したボックスを備え、画情報受信時に受信したサブアドレス情報などに基づいて、対応するボックスを利用したセンター機アプリケーションを実行するファクシミリ装置の制御方法において、ポーリング文書作成操作時、Fコードの入力を要求し、操作入力されたFコードと同じ値が登録されているボックスを検索し、該当するボックスを見つけた場合に限り、そのポーリング文書作成操作を許可するとともに、そのポーリング文書作成操作にかかるジョブを管理するための文書管理情報には、その

ときに見つけた上記ボックスの識別情報を、認証情報として登録し、着信時、相手端末よりポーリング受信が要求されると、指定された送信文書に対応した上記文書管理情報に登録されている認証情報に対応した上記ボックスより、登録されたボックス名称を読み出し、そのボックス名称の表示情報を、送信画像に挿入するようにしたものである。

#### 【0030】

#### 【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照しながら、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

#### 【0031】

図1は、本発明の一実施例にかかるグループ3ファクシミリ装置の構成例を示している。

#### 【0032】

同図において、システム制御部1は、このグループ3ファクシミリ装置の各部の制御処理、および、ファクシミリ伝送制御手順処理などの各種制御処理を行うものであり、システムメモリ2は、システム制御部1が実行する制御処理プログラム、処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するとともに、システム制御部1のワークエリアを構成するものであり、パラメータメモリ3は、このグループ3ファクシミリ装置に固有な各種の情報（例えば、ワンタッチダイヤル機能の登録情報など）を記憶するためのものであり、時計回路4は、現在時刻情報を出力するものである。

#### 【0033】

スキャナ5は、所定の解像度で原稿画像を読み取るためのものであり、プロッタ6は、所定の解像度で画像を記録出力するためのものであり、操作表示部7は、このグループ3ファクシミリ装置を操作するためのもので、各種の操作キー、および、各種の表示器からなる。

#### 【0034】

符号化復号化部8は、画信号を符号化圧縮するとともに、符号化圧縮されている画情報を元の画信号に復号化するためのものであり、画像蓄積装置9は、符号化圧縮された状態の画情報を多数記憶し、上述した親展ボックス機能を実現する

ためのものである。

【0035】

グループ3ファクシミリモデム10は、グループ3ファクシミリのモデム機能を実現するためのものであり、伝送手順信号をやりとりするための低速モデム機能（V. 21モデム）、および、おもに画情報をやりとりするための高速モデム機能（V. 17モデム、V. 34モデム、V. 29モデム、V. 27terモデムなど）を備えている。

【0036】

網制御装置11は、このグループ3ファクシミリ装置を公衆網（PSTN）に接続するためのものであり、自動発着信機能を備えている。

【0037】

これらの、システム制御部1、システムメモリ2、パラメータメモリ3、時計回路4、スキャナ5、プロッタ6、操作表示部7、符号化復号化部8、画像蓄積装置9、グループ3ファクシミリモデム10、および、網制御装置11は、内部バス12に接続されており、これらの各要素間でのデータのやりとりは、主としてこの内部バス12を介して行われている。

【0038】

また、網制御装置11とグループ3ファクシミリモデム10との間のデータのやりとりは、直接行なわれている。

【0039】

また、このグループ3ファクシミリ装置には、その画像蓄積装置9を利用して、複数のボックスが設けられており、それぞれのボックスには、おのこのボックスを管理するために、図2に示すようなボックス情報が作成され、システムメモリ2に記憶されている。なお、実際の画情報は、画像蓄積装置9に蓄積され、蓄積した画情報を管理するための蓄積管理情報（図示略）に、その画情報がいずれのボックスに属するものであるかを指定する情報が付加されて、おのこのボックスへの画情報の蓄積などが管理される。

【0040】

このボックス情報は、登録されたFコード、パスワード、ボックス名称、およ

び、そのボックスの種別（「親展ボックス」、「掲示板」、「中継ボックス」など）をあらわすボックス種別情報、1つ以上の配信先情報からなる。

【0041】

なお、このボックス情報は、あらかじめ所定個数が準備されており、ユーザ操作によりそのボックスを使用するか否かが登録される。このように、ボックスを使用するための操作を「ボックスの開設」という。

【0042】

また、ボックス情報のおおのの要素は、必要によって内容が登録される。したがって、例えば、パスワードが登録されない親展ボックスというものもありえる。

【0043】

一方、このグループ3ファクシミリ装置では、送受信ジョブなどを管理するための文書管理情報が作成されて、システムメモリ2に保存される。この文書管理情報の一例を図3に示す。

【0044】

文書管理情報は、それぞれの文書を識別するための文書番号、文書が作成された日時を記憶するための作成日時、通信が実行された日時を記憶するための実行日時、文書の種別（「送信文書」、「受信文書」、「ポーリング文書」など）を記憶するための文書種別、この文書を作成したユーザの認証などに適用したボックスの識別情報（例えば、ボックス番号）を記憶するための識別情報、この文書管理情報に対応した画像情報（文書情報）の画像蓄積装置9における参照情報をあらわす画像情報、この文書管理情報に対応した文書情報を格納するボックスをあらわすボックス番号、実行された通信結果をあらわす実行結果からなる。

【0045】

また、この文書管理情報の各要素は、その文書の属性により、有効な情報が登録されない場合がある。例えば、文書情報が送信文書である場合、ボックス番号は使用されない。

【0046】

このグループ3ファクシミリ装置を利用して、ファクシミリ送信するとき、操

作表示部 7 の表示画面には、初期画面として図 4 に示すような画面が表示されている。

【 0 0 4 7 】

その状態で、送信原稿をセットすると、表示画面の内容が図 5 に示すように変化し、それに表示されているガイダンスに従って、宛先を入力すると、図 6 に示すように、入力した宛先の内容が表示されるとともに、次の操作へのガイダンスが表示される。

【 0 0 4 8 】

ここで、ユーザ認証のために発信者情報を入力する必要があるので、図 6 の表示の「拡張送信」を選択する。これにより、表示画面は図 7 に示すように変化する。この画面から「0 4 発信者情報」を選択すると、表示画面は図 8 に示すように変化し、暗証番号の入力が要求される。

【 0 0 4 9 】

それにより、ユーザは、暗証番号として F コードを入力する。また、このユーザの入力操作に伴い、その入力内容が図 9 に示すように表示される。例えば、ここで入力する F コードは、ユーザ本人が自分自身のために開設したボックスに登録した F コードである。

【 0 0 5 0 】

このように F コードが入力されると、グループ 3 ファクシミリ装置は、その入力された F コードと同一の値が F コードとして登録されているボックス情報を検索し、該当するボックスが見つかり、検索が成功すると、その該当ボックスからボックス名称を読み出し、図 1 0 に示すようなガイダンスを表示して、ユーザに確認する。

【 0 0 5 1 】

ここで、ユーザが「YES」を選択すると、その該当ボックスのボックス番号がこのときの送信操作のための識別情報として適用されるとともに、ユーザ認証が成功して、それ以降の送信動作を行うことができる。

【 0 0 5 2 】

なお、暗証番号の入力時、図 9 のように入力内容を明示すると他人から盗み見

されて悪用されるおそれがあるので、その場合、図 11 に示すように、入力された桁数だけの文字数の記号列（この場合、「\*」の記号列）を表示して、入力内容を秘匿することが好ましい。

【0053】

また、この送信操作で実行される画情報送信においては、図 12 に示すように、そのときにユーザが設定したボックスの F コードの内容が、発信コード欄に付加されるか、あるいは、図 13 に示すように、そのときにユーザが設定したボックスのボックス名称が、発信者欄に付加される。また、この付加情報の種別は、グループ 3 ファクシミリ装置の設定内容による。

【0054】

なお、ボックス情報を用いてユーザの認証を行う方法は、送信操作時のみならず、ポーリング送信用の文書を作成する際にも用いられる。

【0055】

このようにして、本実施例では、主として受信動作に関連するボックス情報を用いて、送信操作時のユーザ制限などの際に適用するユーザ認証を行っているため、そのユーザ認証に必要な情報をさらに設ける必要がないので、システムメモリ 2 に必要なメモリ容量を削減することができ、装置コストを低減することができる。

【0056】

図 14、図 15、図 16 および 17 は、ユーザが送信操作またはポーリング文書作成操作を行う際に、このグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示している。

【0057】

この処理では、送信操作またはポーリング文書作成が指令されることを監視しており（判断 101、102 の N O ループ）、送信操作がされて判断 101 の結果が Y E S になると、宛先を入力要求して、ユーザに送信宛先を入力させる（処理 03）。

【0058】

次いで、送信元情報（発信者情報）を入力させる（処理 104）。この処理 1



04 が中断されなければ（判断 105 の結果が NO）、そのときに入力された送信元情報の内容を検証する。

【0059】

すなわち、まず、検索対象として「親展ボックスのみ」が指定されているかどうかを調べ（判断 106）、判断 106 の結果が YES になるとときには、所定の親展ボックス検索処理（処理 107；後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかの親展ボックスに Fコードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【0060】

また、検索対象として「親展ボックスのみ」が指定されていない場合で、判断 106 の結果が NO になるとときには、検索対象として「パスワード付きボックスのみ」が指定されているかどうかを調べる（判断 108）。

【0061】

判断 108 の結果が YES になるとときには、所定のパスワード付きボックス検索処理（処理 109；後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかのパスワード付きのボックスに Fコードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【0062】

また、検索対象として「親展ボックスのみ」も「パスワード付きボックス」も指定されていない場合で、判断 108 の結果が NO になるとときには、検索対象として全てのボックスが指定されている場合である。

【0063】

したがって、この場合には、所定の全ボックス検索処理（処理 110；後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかのボックスに Fコードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【0064】

処理 107、109、110 の検索処理が終了すると、それらの検索処理結果が「成功」であるかどうかを調べる（判断 111）。これらの検索処理結果が「失敗」の場合で、判断 111 の結果が NO になるとときには、処理 104 へ戻り、

ユーザに対して、再度送信元情報を入力させる。

【0065】

また、検索処理結果が「成功」の場合で、判断111の結果がYESになるときは、そのときに要求されている送信動作を実行する。

【0066】

まず、そのときの送信ジョブについて上述した文書管理情報を作成して保存する（処理112）。

【0067】

次いで、指定された宛先へ発呼し（処理115）、相手端末との間で所定の伝送手順を実行してそのときに使用する伝送機能などを設定し（処理116）、所定のモデムトレーニング手順を実行して、そのときに使用するモデム速度を決定する（処理117）。

【0068】

ここで、このグループ3ファクシミリ装置には、あらかじめ、送信画像に発信者の識別情報としてFコードを付加するか、あるいは、ボックス名称を付加するかが、設定されている。

【0069】

そこで、次に、Fコードを付加することが設定されているかどうかを調べ（判断118）、判断118の結果がYESになるときは、そのときの文書管理情報の識別情報に登録されているボックス番号からFコードを読み出す（処理119）。

【0070】

次いで、スキャナ5にセットされている送信原稿を読込（処理120）、Fコードの表示画像を作成して所定の表示領域に挿入し（処理121）、その後の画像を符号化複号化部8で符号化圧縮し、それによって得た画情報を相手端末へ送信する（処理122）。

【0071】

1ページ分の画情報の送信を終了すると、次のページがあるかどうかを調べ（判断123）、後続の送信原稿がスキャナ5にセットされていて、判断123の

結果がYESになるとときには、メッセージ後信号として信号MPSを送出し（処理124）、相手端末より応答信号を受信すると（処理125）、処理120へ戻り、後続のページの画情報を送信する。

## 【0072】

また、全てのページの画情報の送信を終了した場合で、判断123の結果がNOになるとときには、メッセージ後信号として信号EOPを送出し（処理126）、相手端末より応答信号を受信すると（処理127）、信号DCNを送出して（処理128）、回線を復旧する（処理129）。

## 【0073】

そして、そのときの送信結果に基づいて、文書管理情報の内容を更新し（処理130）、この送信動作を終了する。

## 【0074】

一方、ボックス名称を付加することが設定されている場合で、判断118の結果がNOになるとときには、そのときの文書管理情報の識別情報に登録されているボックス番号からボックスを読み出す（処理131）。

## 【0075】

次いで、スキャナ5にセットされている送信原稿を読込（処理132）、ボックス名称の表示画像を作成して所定の表示領域に挿入し（処理133）、その後の画像を符号化複号化部8で符号化圧縮し、それによって得た画情報を相手端末へ送信する（処理134）。

## 【0076】

1ページ分の画情報の送信を終了すると、次のページがあるかどうかを調べ（判断135）、後続の送信原稿がスキャナ5にセットされていて、判断135の結果がYESになるとときには、メッセージ後信号として信号MPSを送出し（処理136）、相手端末より応答信号を受信すると（処理137）、処理132へ戻り、後続のページの画情報を送信する。

## 【0077】

また、全てのページの画情報の送信を終了した場合で、判断135の結果がNOになるとときには、メッセージ後信号として信号EOPを送出し（処理138）

、相手端末より応答信号を受信すると（処理 139）、信号 DCN を送出し（処理 140）、処理 129 へ移行し、それ以降の動作を実行する。

【0078】

なお、ユーザが送信元情報の入力操作を途中でキャンセルした場合で、判断 105 の結果が YES になるとときには、その時点で、送信動作を中断する。

【0079】

一方、ユーザがポーリング送信文書の作成を操作した場合で、判断 102 の結果が YES になるとときには、送信元情報（発信者情報）を入力させ（処理 141）、この処理 141 が中断されなければ（判断 142 の結果が NO）、そのときに入力された送信元情報の内容を検証する。

【0080】

すなわち、まず、検索対象として「親展ボックスのみ」が指定されているかどうかを調べ（判断 143）、判断 143 の結果が YES になるとときには、所定の親展ボックス検索処理（処理 144；後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかの親展ボックスに Fコードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【0081】

また、検索対象として「親展ボックスのみ」が指定されていない場合で、判断 143 の結果が NO になるとときには、検索対象として「パスワード付きボックスのみ」が指定されているかどうかを調べる（判断 145）。

【0082】

判断 145 の結果が YES になるとときには、所定のパスワード付きボックス検索処理（処理 146；後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかのパスワード付きのボックスに Fコードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【0083】

また、検索対象として「親展ボックスのみ」も「パスワード付きボックス」も指定されていない場合で、判断 145 の結果が NO になるとときには、検索対象として全てのボックスが指定されている場合である。

【 0 0 8 4 】

したがって、この場合には、所定の全ボックス検索処理（処理 1 4 7 ; 後述）を実行して、入力された送信元情報が、いずれかのボックスに F コードとして登録されているものであるかどうかを調べる。

【 0 0 8 5 】

処理 1 4 4 , 1 4 6 , 1 4 7 の検索処理が終了すると、それらの検索処理結果が「成功」であるかどうかを調べる（判断 1 4 8）。これらの検索処理結果が「失敗」の場合で、判断 1 4 8 の結果が N O になるときには、処理 1 4 1 へ戻り、ユーザに対して、再度送信元情報を入力させる。

【 0 0 8 6 】

また、検索処理結果が「成功」の場合で、判断 1 4 8 の結果が Y E S になるときには、そのときに要求されているポーリング文書作成動作を実行する。

【 0 0 8 7 】

まず、スキャナ 5 にセットされている各原稿を読み取り、それによって得た画像データを符号化複号化部 8 で符号化圧縮し、それによって得た画情報を画像蓄積装置 9 へ保存する（処理 1 4 9）。

【 0 0 8 8 】

そして、そのときの保存した文書情報の送信ジョブについて上述した文書管理情報を作成して保存し（処理 1 5 0）、このポーリング文書作成動作を終了する。ここで、処理 1 5 0 で作成する文書管理情報のボックス番号は、処理 1 4 4 , 1 4 6 , 1 4 7 の検索処理の結果得られたボックス番号を適用することができる。

【 0 0 8 9 】

なお、ユーザが送信元情報の入力操作を途中でキャンセルした場合で、判断 1 4 2 の結果が Y E S になるときには、その時点で、ポーリング文書作成動作を中断する。

【 0 0 9 0 】

このように、本実施例では、画情報送信時に画像に挿入する送信元情報として、ボックス番号を参照して得られる情報（F コードまたはボックス名称）を用い

ているので、送信元情報を指定するための情報として固有のものを用いる必要がなく、文書管理情報のサイズも小さく抑えることができるので、システムメモリ 2 に必要なメモリ容量を制限することができ、装置コストを抑制できる。

## 【0091】

図 18 は、親展ボックス検索処理（処理 107、144）の一例を示している。

## 【0092】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理 201）。

## 【0093】

次いで、ボックス（ボックス情報）を 1 つ選択し（処理 202）、そのボックス情報のボックス種別が「親展ボックス」であるかどうかを調べ（判断 203）、判断 203 の結果が YES になるときには、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断 204）、判断 204 の結果が YES になるときには、そのボックス情報の F コードに登録されている値と、検索対象の F コードの値とが一致するかどうかを調べる（判断 205）。

## 【0094】

判断 205 の結果が YES になるときには、このときの親展ボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「成功」を返す。

## 【0095】

また、判断 203 の結果が NO になるとき、または、判断 204 の結果が NO になるとき、または、判断 205 の結果が NO になるときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断 206）、判断 206 の結果が YES になるときには、処理 202 へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。

## 【0096】

また、全ての開設済みの親展ボックスの内容を調べたが、検索対象の F コードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断 206 の結果が NO になるときには、このときの親展ボックス検索処理をエラー終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「失敗」を返す。

【0097】

このようにして、親展ボックス検索処理では、検索対象として、開設済みの親展ボックスに限定しているので、全てのボックス情報を検索対象とする場合に比べて、その処理速度が高速である。

【0098】

図19は、パスワード付きボックス検索処理（処理109，146）の一例を示している。

【0099】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理301）。

【0100】

次いで、ボックス（ボックス情報）を1つ選択し（処理302）、そのボックス情報のボックス種別が「パスワード付きボックス」であるかどうかを調べ（判断303）、判断303の結果がYESになるとときには、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断304）、判断304の結果がYESになるとときには、そのボックス情報のFコードに登録されている値と、検索対象のFコードの値とが一致するかどうかを調べる（判断305）。

【0101】

判断305の結果がYESになるとときには、このときのパスワード付きボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として値「成功」を返す。

【0102】

また、判断303の結果がNOになるとき、または、判断304の結果がNOになるとき、または、判断305の結果がNOになるとときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断306）、判断306の結果がYESになるとときには、処理302へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。

【0103】

また、全ての開設済みのパスワード付きボックスの内容を調べたが、検索対象のFコードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断306の結果がNOになるとときには、このときのパスワード付きボックス検索処理をエラー終了す

る。すなわち、この場合には、検索処理結果として値「失敗」を返す。

【0104】

このようにして、パスワード付きボックス検索処理では、検索対象として、開設済みのパスワード付きボックスに限定しているため、全てのボックス情報を検索対象とする場合に比べて、その処理速度が高速である。

【0105】

また、パスワード付きボックス検索処理では、さらに、判断305の結果がYESになったときに、ユーザに対してパスワードの入力を要求し、ボックス情報に登録されているパスワードと比較する認証処理を行うようにすることで、より確実なユーザ認証を行うことができる。

【0106】

図20は、全ボックス検索処理（処理110、147）の処理例を示している。

【0107】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理401）。

【0108】

次いで、ボックス（ボックス情報）を1つ選択し（処理402）、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断403）、判断403の結果がYESになるとときには、そのボックス情報のFコードに登録されている値と、検索対象のFコードの値とが一致するかどうかを調べる（判断404）。

【0109】

判断404の結果がYESになるとときには、このときの全ボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として値「成功」を返す。

【0110】

また、判断403の結果がNOになるととき、または、判断404の結果がNOになるとときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断405）、判断405の結果がYESになるとときには、処理402へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。



## 【0111】

また、全ての開設済みのボックスの内容を調べたが、検索対象のFコードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断405の結果がNOになるときは、このときの全ボックス検索処理をエラー終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として値「失敗」を返す。

## 【0112】

図21、図22、および、図23は、着信時にこのグループ3ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示している。

## 【0113】

着信検出すると、まず、着信応答し、相手端末との間で所定の伝送前手順を実行して伝送機能などの確認および設定を行う（処理502）。

## 【0114】

ここで、相手端末よりポーリング要求がされたかどうかを調べ（判断503）、判断503の結果がNOになるときには、通常の着信時の処理を実行して（処理504）、この着信時の動作を終了する。

## 【0115】

また、相手端末よりポーリング要求がされた場合で、判断503の結果がYESになるときには、モデムトレーニング手順を実行して使用するモデム速度を決定し（処理505）、そのときに送信するファイルを選択する（処理506）。例えば、相手端末より信号SEPによりFコードが指定された場合には、そのFコードに対応したボックスの画情報を送信ファイルとして選択する。それ以外の場合には、フリーポーリング用に用意された画情報を送信ファイルとして選択する。

## 【0116】

そして、自端末に、発信元情報としてFコードを付加することが設定されているかどうかを調べ（判断507）、判断507の結果がYESになるときには、そのときに選択したファイルに対応した文書管理情報の識別情報に登録されているボックス番号のボックス情報からFコードを読み出す（処理508）。

## 【0117】

次いで、画像蓄積装置 9 からそのときに選択したファイルの 1 ページ分の画情報を読み出して、その画情報を符号化複号化部 8 で元の画像データに復号化し（処理 509）、それによって得た 1 ページ分の画像の所定の表示領域に、Fコードに基づいて作成した Fコードの表示画像を挿入し（処理 510）、その後の画像を符号化複号化部 8 で符号化圧縮し、それによって得た画情報を相手端末へ送信する（処理 511）。

## 【0118】

1 ページ分の画情報の送信を終了すると、次のページがあるかどうかを調べる（判断 512）。次のページがある場合で、判断 512 の結果が YES になるときには、メッセージ後信号として信号 MPS を送出し（処理 513）、相手端末より応答信号を受信すると（処理 514）、処理 509 へ戻り、後続のページの画情報を送信する。

## 【0119】

また、全てのページの画情報の送信を終了した場合で、判断 512 の結果が NO になるとときには、メッセージ後信号として信号 EOP を送出し（処理 515）、相手端末より応答信号を受信すると（処理 516）、信号 DCN を送出して（処理 517）、回線を復旧する（処理 518）。

## 【0120】

そして、そのときのポーリング送信結果に基づいて、文書管理情報の内容を更新し（処理 519）、このポーリング送信動作を終了する。

## 【0121】

一方、発信元情報としてボックス名称を付加することが設定されている場合で、判断 507 の結果が NO になるとときには、そのときに選択したファイルに対応した文書管理情報の識別情報に登録されているボックス番号のボックス情報からボックス名称を読み出す（処理 131）。

## 【0122】

次いで、画像蓄積装置 9 からそのときに選択したファイルの 1 ページ分の画情報を読み出して、その画情報を符号化複号化部 8 で元の画像データに復号化し（処理 521）、それによって得た 1 ページ分の画像の所定の表示領域に、ボック

ス名称に基づいて作成したボックス名称の表示画像を挿入し（処理 522）、その後の画像を符号化複号化部 8 で符号化圧縮し、それによって得た画情報を相手端末へ送信する（処理 523）。

#### 【0123】

1 ページ分の画情報の送信を終了すると、次のページがあるかどうかを調べ（判断 524）、次のページがある場合で、判断 524 の結果が YES になるときには、メッセージ後信号として信号 MPS を送出し（処理 525）、相手端末より応答信号を受信すると（処理 526）、処理 521 へ戻り、後続のページの画情報を送信する。

#### 【0124】

また、全てのページの画情報の送信を終了した場合で、判断 524 の結果が NO になるときには、メッセージ後信号として信号 EOP を送出し（処理 527）、相手端末より応答信号を受信すると（処理 528）、信号 DCN を送出し（処理 529）、処理 518 へ移行し、それ以降の動作を実行する。

#### 【0125】

このように、本実施例では、ポーリング送信時に画像に挿入する送信元情報として、ボックス番号を参照して得られる情報（Fコードまたはボックス名称）を用いているので、送信元情報を指定するための情報として固有のものを用いる必要がなく、文書管理情報のサイズも小さく抑えることができるので、システムメモリ 2 に必要なメモリ容量を制限することができ、装置コストを抑制できる。

#### 【0126】

また、ユーザとしては、1つのFコードを用いて、ユーザ認証やボックスの指定を行うことができるので、複数の認証用情報を用いる場合に比べて格段に利用しやすくなり、非常に便利である。

#### 【0127】

ところで、上述した実施例では、ボックス情報として図 2 に示したようなものを用いたが、これに代えて、図 24 に示したようなものを用いることもできる。この場合、図 2 のものに比べて、ボックス種別を削除しているので、ユーザから入力された F コードを検索する処理としては、パスワード付きボックス検索処理

と、全ボックス検索処理の 2 種類となる。

【0 1 2 8】

反対に、ボックス情報として、図 2 5 に示したように、図 2 のものに、さらに、このボックス情報をユーザ認証のために使用できるか否かを指定するための暗証番号の可否情報を追加することもできる。

【0 1 2 9】

その場合の親展ボックス検索処理の一例を図 2 6 に示す。

【0 1 3 0】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理 6 0 1）。

【0 1 3 1】

次いで、ボックス（ボックス情報）を 1 つ選択し（処理 6 0 2）、そのボックス情報のボックス種別が「親展ボックス」であるかどうかを調べ（判断 6 0 3）、判断 6 0 3 の結果が Y E S になるとときには、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断 6 0 4）、判断 6 0 4 の結果が Y E S になるとときには、そのボックス情報の F コードに登録されている値と、検索対象の F コードの値とが一致するかどうかを調べる（判断 6 0 5）。

【0 1 3 2】

判断 6 0 5 の結果が Y E S になるとときには、暗証番号の可否情報の内容が、「可」になっているかどうかを調べ（判断 6 0 6）、判断 6 0 6 の結果が Y E S になるとときには、このときの親展ボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「成功」を返す。

【0 1 3 3】

また、判断 6 0 3 の結果が N O になるとき、または、判断 6 0 4 の結果が N O になるとき、または、判断 6 0 5 の結果が N O になるとときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断 6 0 6）、判断 6 0 6 の結果が Y E S になるとときには、処理 6 0 2 へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。

【0 1 3 4】

また、全ての開設済みの親展ボックスの内容を調べたが、検索対象の F コードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断 6 0 6 の結果が N O になると

き、および、判断 606 の結果が NO になるときには、このときの親展ボックス検索処理をエラー終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「失敗」を返す。

【0135】

その場合のパスワード付きボックス検索処理の一例を図 27 に示す。

【0136】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理 701）。

【0137】

次いで、ボックス（ボックス情報）を 1 つ選択し（処理 702）、そのボックス情報のボックス種別が「パスワード付きボックス」であるかどうかを調べ（判断 703）、判断 703 の結果が YES になるときには、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断 704）、判断 704 の結果が YES になるときには、そのボックス情報の F コードに登録されている値と、検索対象の F コードの値とが一致するかどうかを調べる（判断 705）。

【0138】

判断 705 の結果が YES になるときには、暗証番号の可否情報の内容が、「可」になっているかどうかを調べ（判断 706）、判断 706 の結果が YES になるときには、このときのパスワード付きボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「成功」を返す。

【0139】

また、判断 703 の結果が NO になるとき、または、判断 704 の結果が NO になるとき、または、判断 705 の結果が NO になるときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断 706）、判断 706 の結果が YES になるときには、処理 702 へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。

【0140】

また、全ての開設済みのパスワード付きボックスの内容を調べたが、検索対象の F コードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断 706 の結果が NO になるとき、および、判断 706 の結果が NO になるときには、このときのパスワード付きボックス検索処理をエラー終了する。すなわち、この場合には、検

索処理結果として値「失敗」を返す。

【0141】

この場合の全ボックス検索処理の一例を図28に示す。

【0142】

まず、検索処理の各パラメータを初期化する（処理801）。

【0143】

次いで、ボックス（ボックス情報）を1つ選択し（処理802）、そのボックスが開設済みであるかどうかを調べ（判断803）、判断803の結果がYESになるときには、そのボックス情報のFコードに登録されている値と、検索対象のFコードの値とが一致するかどうかを調べる（判断804）。

【0144】

判断804の結果がYESになるときには、暗証番号の可否情報の内容が、「可」になっているかどうかを調べ（判断805）、判断805の結果がYESになるときには、このときの全ボックス検索処理を正常終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として「成功」を返す。

【0145】

また、判断803の結果がNOになるとき、または、判断804の結果がNOになるときには、次のボックス情報があるかどうかを調べ（判断805）、判断805の結果がYESになるときには、処理802へ戻り、次のボックス情報について同様の検査を行う。

【0146】

また、全ての開設済みのボックスの内容を調べたが、検索対象のFコードの値が登録されている対象がなかった場合で、判断805の結果がNOになるとき、および、判断805の結果がNOになるときには、このときの全ボックス検索処理をエラー終了する。すなわち、この場合には、検索処理結果として値「失敗」を返す。

【0147】

このようにして、この場合には、暗証番号の可否情報に基づいて、そのボックス情報を用いたユーザ認証の可否を設定しているので、このグループ3ファクシ

ミリ装置を使用できないユーザを指定することができ、利用者制限をより有効に行うことができる。

【0148】

なお、上述した実施例では、伝送路としてPSTNを用いるファクシミリ装置に、本発明を適用する場合について説明したが、本発明は、伝送路としてISDNを用いるファクシミリ装置についても、同様にして適用することができる。

【0149】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、主として受信動作に関連するボックス情報を用いて、送信操作時のユーザ制限などの際に適用するユーザ認証を行っているため、そのユーザ認証に必要な情報をさらに設ける必要がないので、システムメモリ等に必要なメモリ容量を削減することができ、装置コストを低減することができるという効果を得る。

【0150】

また、画情報送信時に画像に挿入する送信元情報として、ボックス番号を参照して得られる情報（Fコードまたはボックス名称）を用いているので、送信元情報を指定するための情報として固有のものを用いる必要がなく、文書管理情報のサイズも小さく抑えることができるので、システムメモリ等に必要なメモリ容量を制限することができ、装置コストを抑制できるという効果も得る。

【0151】

また、親展ボックス検索処理では、検索対象として、開設済みの親展ボックスに限定しているので、全てのボックス情報を検索対象とする場合に比べて、その処理速度が高速であるという効果も得る。

【0152】

また、パスワード付きボックス検索処理では、検索対象として、開設済みのパスワード付きボックスに限定しているので、全てのボックス情報を検索対象とする場合に比べて、その処理速度が高速であるという効果も得る。

【0153】

また、ポーリング送信時に画像に挿入する送信元情報として、ボックス番号を

参照して得られる情報（Fコードまたはボックス名称）を用いているので、送信元情報を指定するための情報として固有のものを用いる必要がなく、文書管理情報のサイズも小さく抑えることができるので、システムメモリ等に必要なメモリ容量を制限することができ、装置コストを抑制できるという効果も得る。

【0154】

また、ユーザとしては、1つのFコードを用いて、ユーザ認証やボックスの指定を行うことができるので、複数の認証用情報を用いる場合に比べて格段に利用しやすくなり、非常に便利である。

【0155】

また、暗証番号の可否情報に基づいて、そのボックス情報を用いたユーザ認証の可否を設定しているので、このグループ3ファクシミリ装置を使用できないユーザを指定することができ、利用者制限をより有効に行うことができるという効果も得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例にかかるグループ3ファクシミリ装置の構成例を示したブロック図。

【図2】

ボックス情報の一例を示した概略図。

【図3】

文書管理情報の一例を示した概略図。

【図4】

表示画面の一例を示した概略図。

【図5】

表示画面の一例を示した概略図。

【図6】

表示画面の一例を示した概略図。

【図7】

表示画面の一例を示した概略図。



【図 8】

表示画面の一例を示した概略図。

【図 9】

表示画面の一例を示した概略図。

【図 1 0】

表示画面の一例を示した概略図。

【図 1 1】

表示画面の一例を示した概略図。

【図 1 2】

送信画像の一例を示した概略図。

【図 1 3】

送信画像の一例を示した概略図。

【図 1 4】

ユーザが送信操作またはポーリング文書作成操作を行う際に、このグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート。

【図 1 5】

ユーザが送信操作またはポーリング文書作成操作を行う際に、このグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート（続き）。

【図 1 6】

ユーザが送信操作またはポーリング文書作成操作を行う際に、このグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート（続き）。

【図 1 7】

ユーザが送信操作またはポーリング文書作成操作を行う際に、このグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート（続き）。

【図 1 8】

親展ボックス検索処理（処理 1 0 7， 1 4 4）の一例を示したフローチャート

【図 1 9】

パスワード付きボックス検索処理（処理 1 0 9， 1 4 6）の一例を示したフロ

ーチャート。

【図 20】

全ボックス検索処理（処理 110，147）の処理例を示したフローチャート

【図 21】

着信時にこのグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート。

【図 22】

着信時にこのグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート（続き）。

【図 23】

着信時にこのグループ 3 ファクシミリ装置が実行する処理の一例を示したフローチャート（続き）。

【図 24】

ボックス情報の他の例を示した概略図。

【図 25】

ボックス情報のさらに他の例を示した概略図。

【図 26】

親展ボックス検索処理（処理 107，144）の他の例を示したフローチャート。

【図 27】

パスワード付きボックス検索処理（処理 109，146）の他の例を示したフローチャート。

【図 28】

全ボックス検索処理（処理 110，147）の処理の他の例を示したフローチャート。

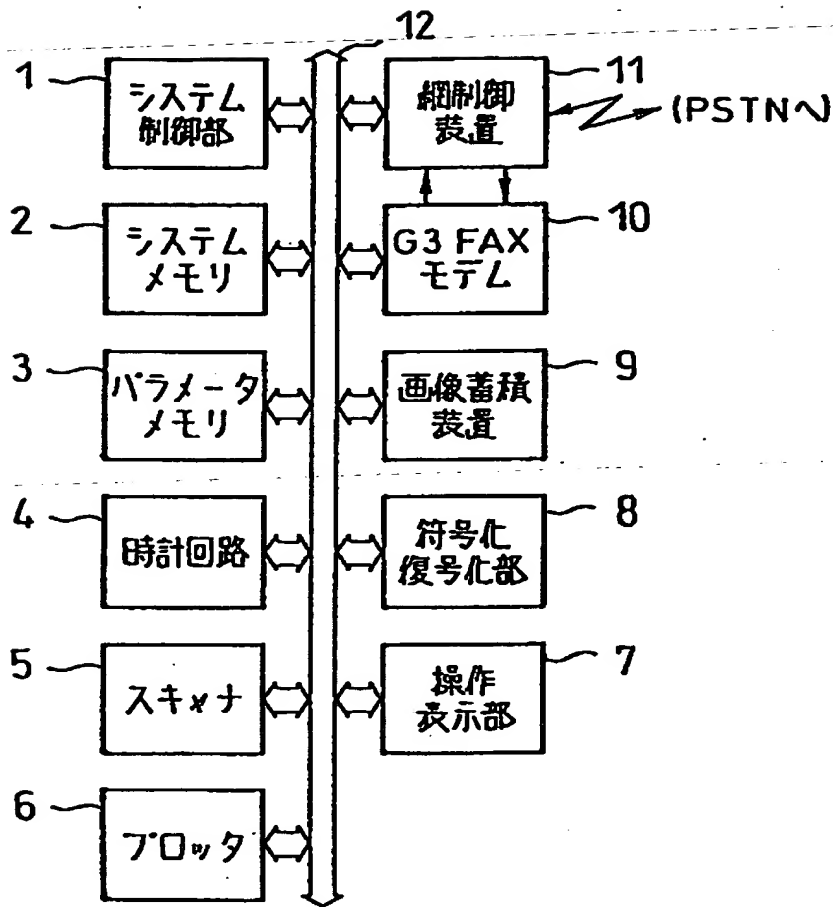
【符号の説明】

- 1 システム制御部
- 2 システムメモリ

3 パラメータメモリ

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

Fコード
パスワード
ボックス名称
ボックス種別

【図 3】

文書番号
作成日時
実行日時
文書種別
識別情報
画像情報
ボックス番号
実行結果

【図 4】

○ファクスできます	原稿をセットし宛先を指定
メモリー送信	100%
<div>拡張送信</div> <div>通信情報</div>	

【図 5】

メモリー送信	原稿をセットし宛先を指定
メモリー送信	100%
<div>拡張送信</div> <div>通信情報</div>	

【図 6】

スタートを押します

046212345678

宛先追加      拡張送信      通信情報

【図 7】

●拡張送信      使用する機能を番号で指定

01 時刻指定      02 親展送信  
03 納期指定      04 発信者情報

前ページ      次ページ      終了

【図 8】

●発信者情報      暗証番号を指定

取消      設定

【図 9】

●発信者情報      暗証番号を指定

12345

取消      設定

【図 1 0】

●発信者情報	暗証番号を指定
ABC太郎 を利用しますか？	
YES	NO

【図 1 1】

●発信者情報	暗証番号を指定
*****	
取 消	設 定

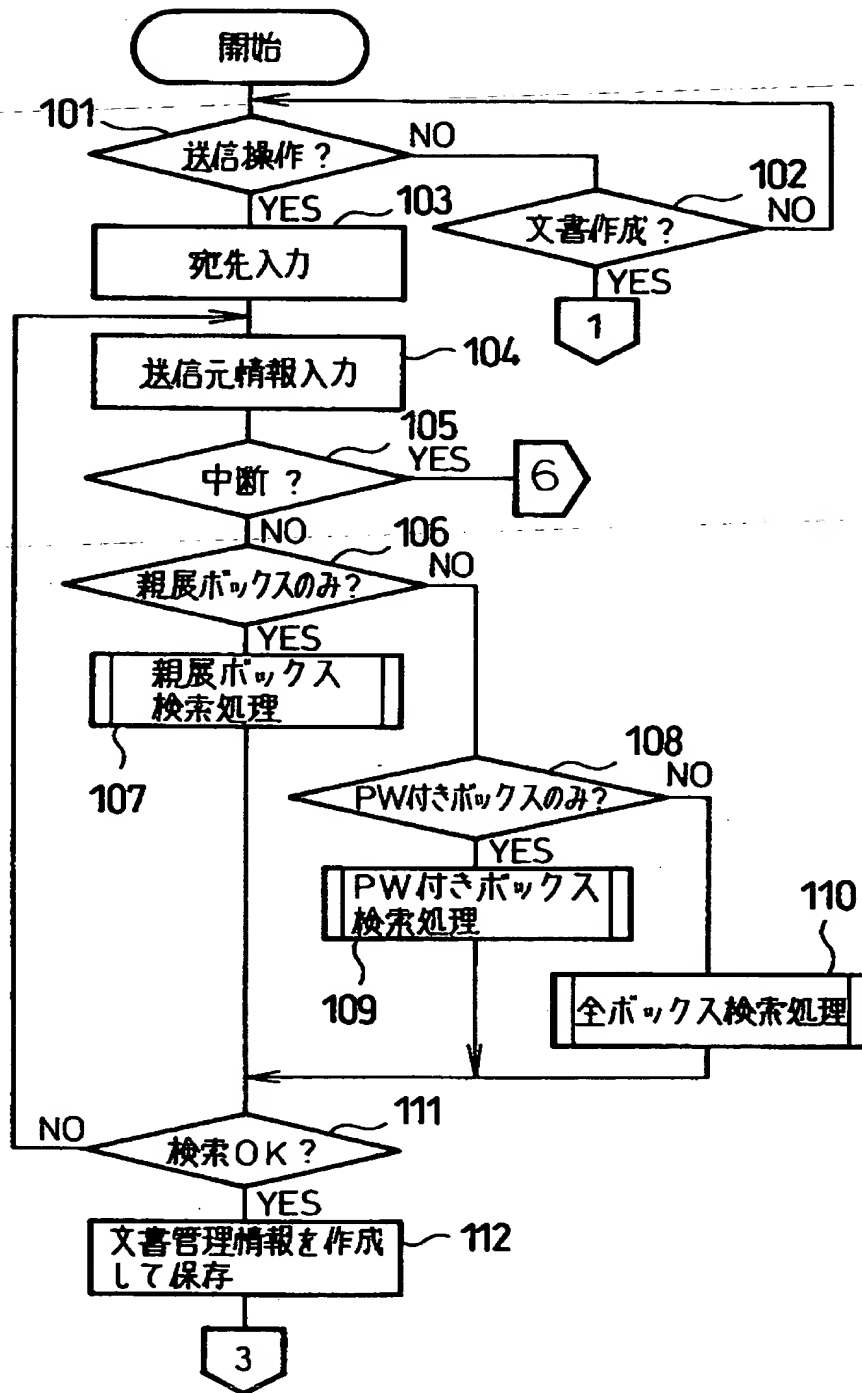
【図 1 2】

1999.02.10 15:30 (株) ABC商事販売 2 G	File No.1234 P.01
発信コード : 123456789	

【図 1 3】

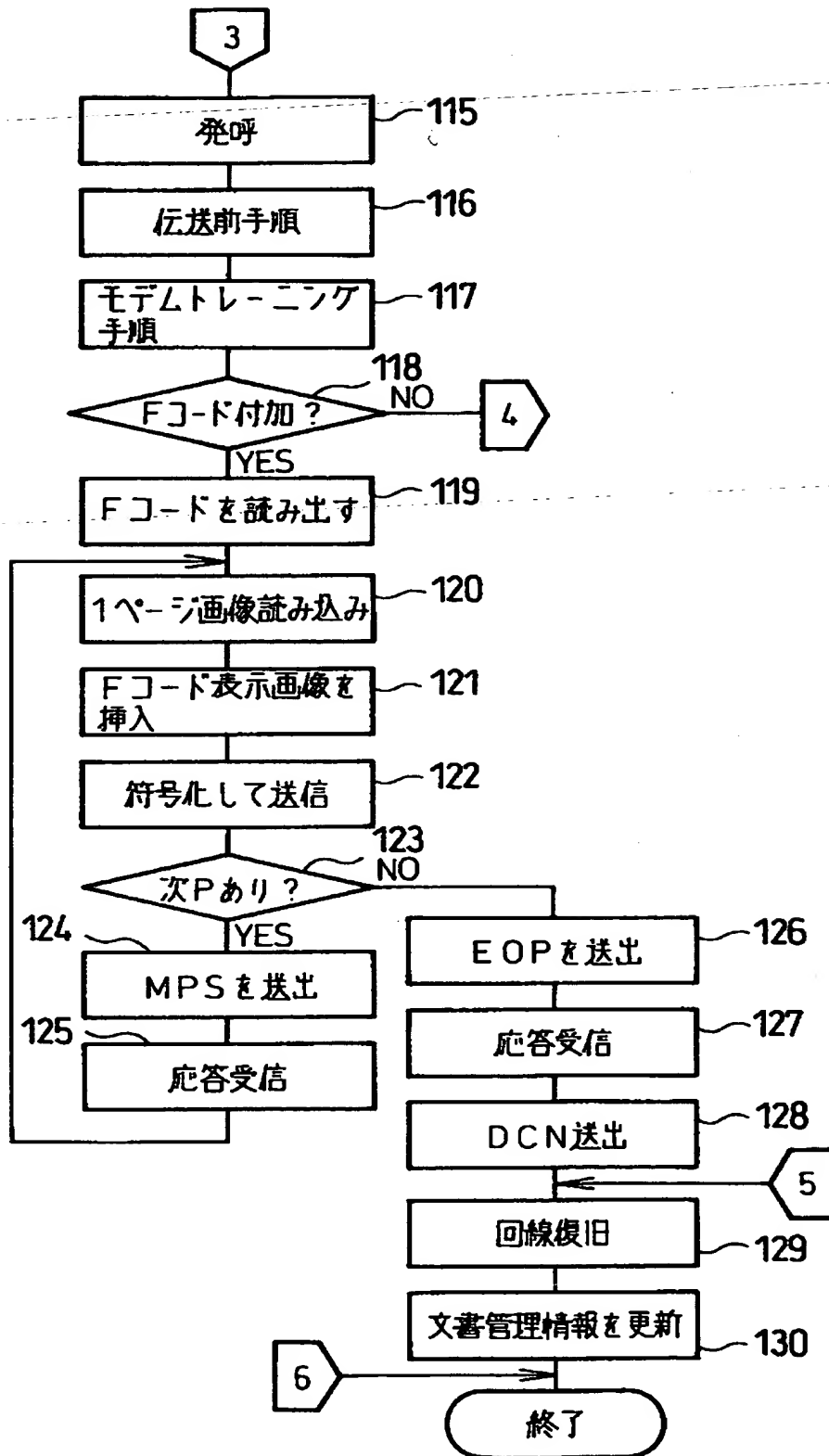
1999.02.10 15:30 (株) ABC商事販売 2 G	File No.1234 P.01
発信者 : ABC太郎	

【図 1 4】

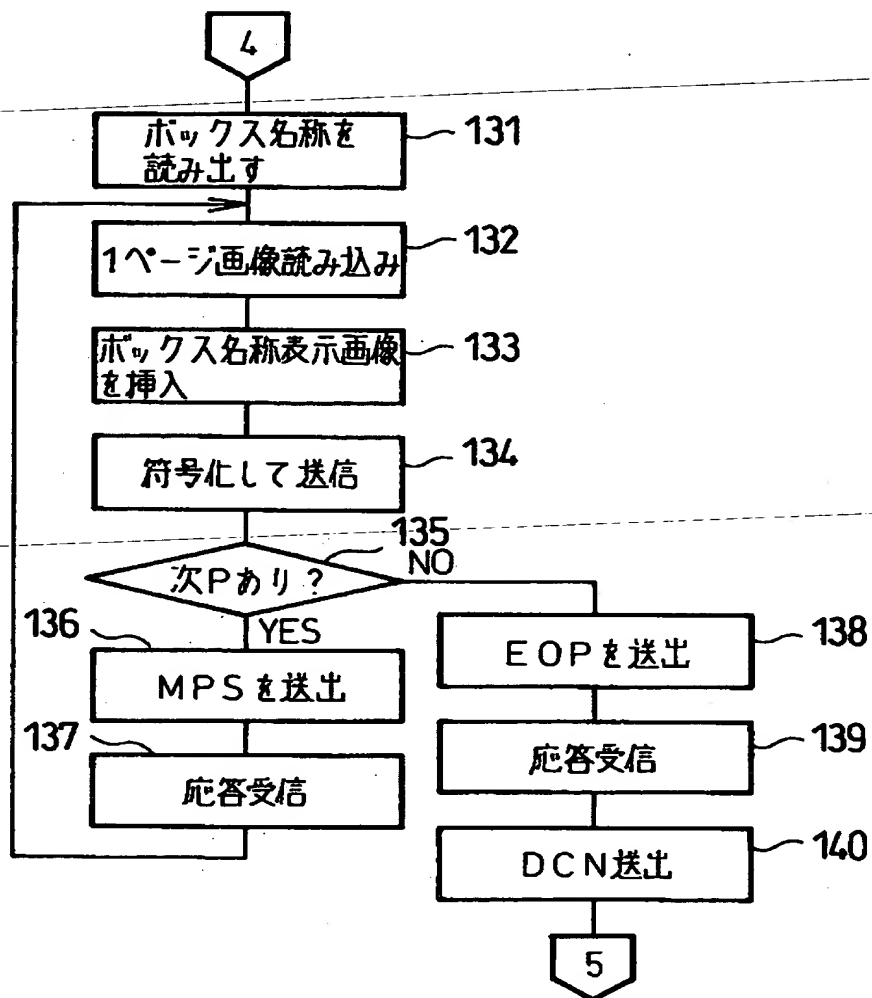




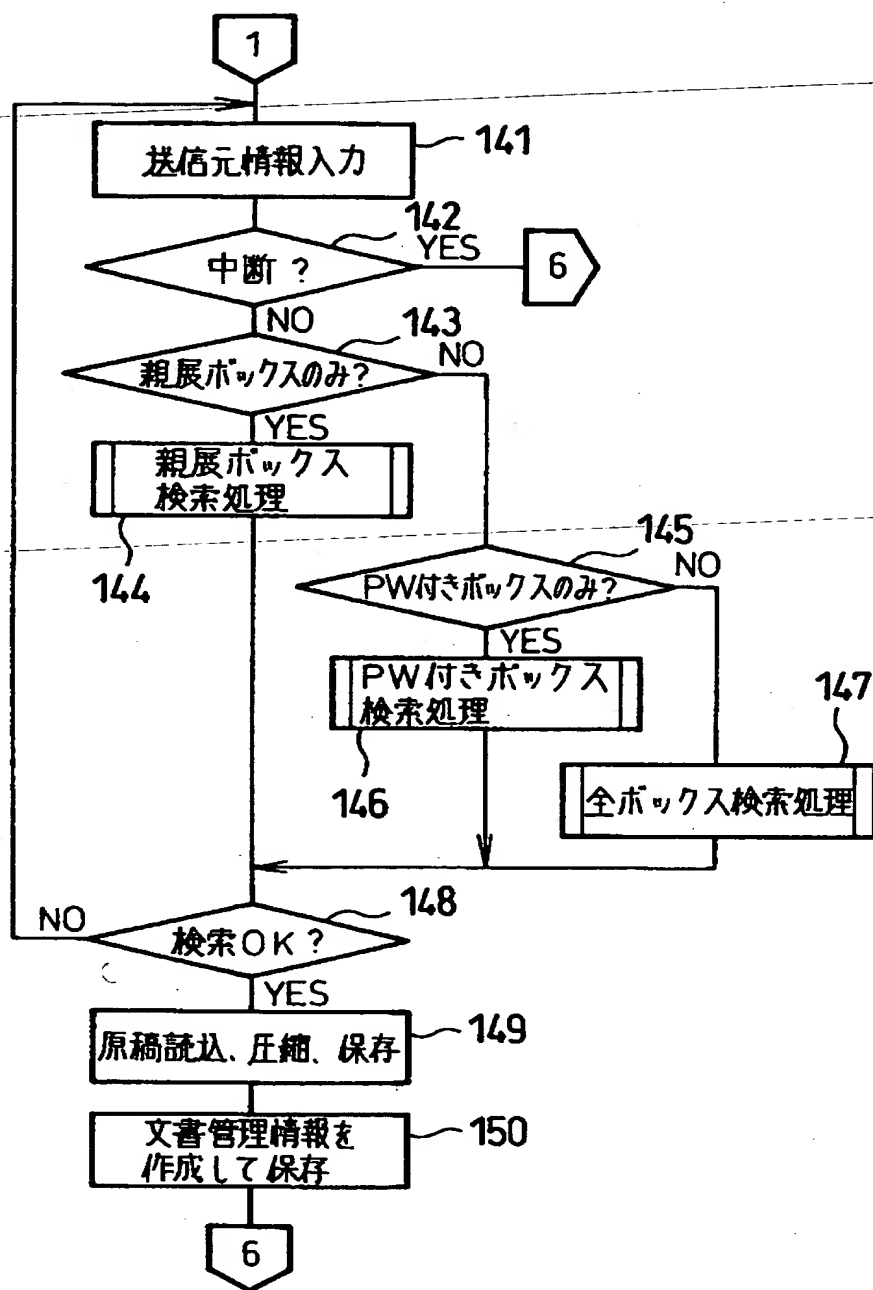
【図 15】



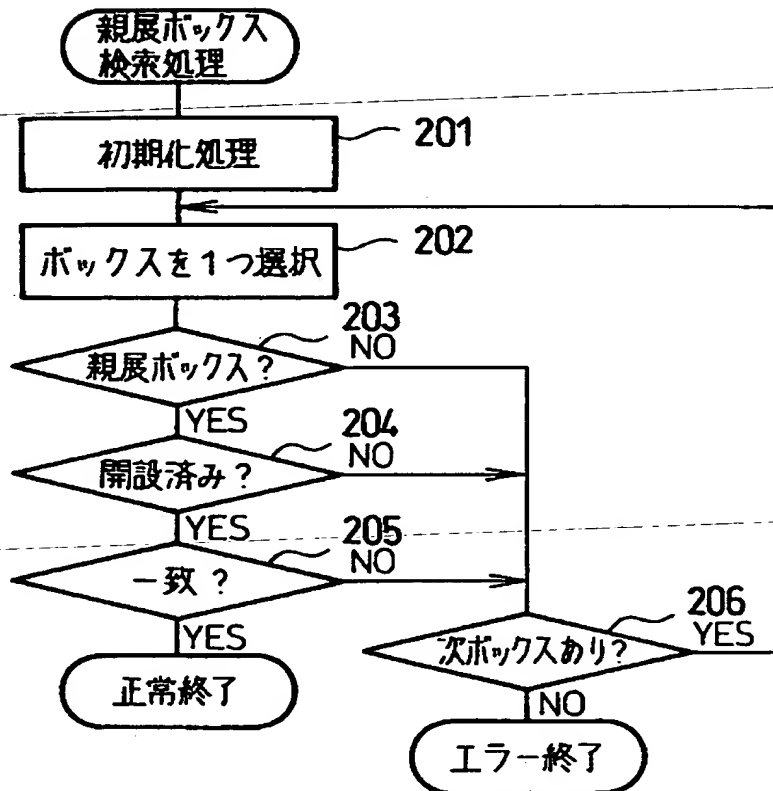
【図 1 6】



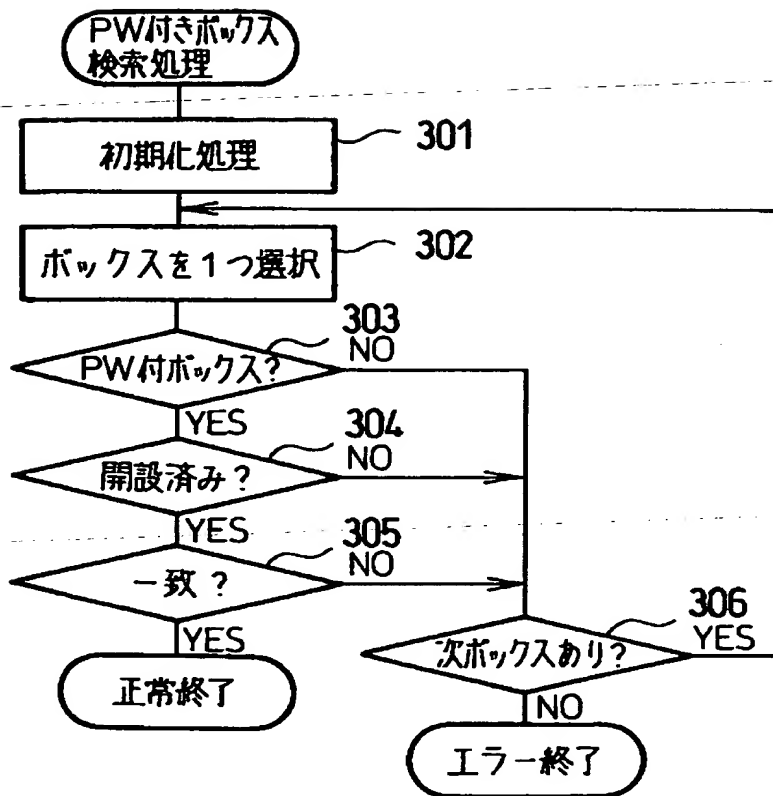
【図 17】



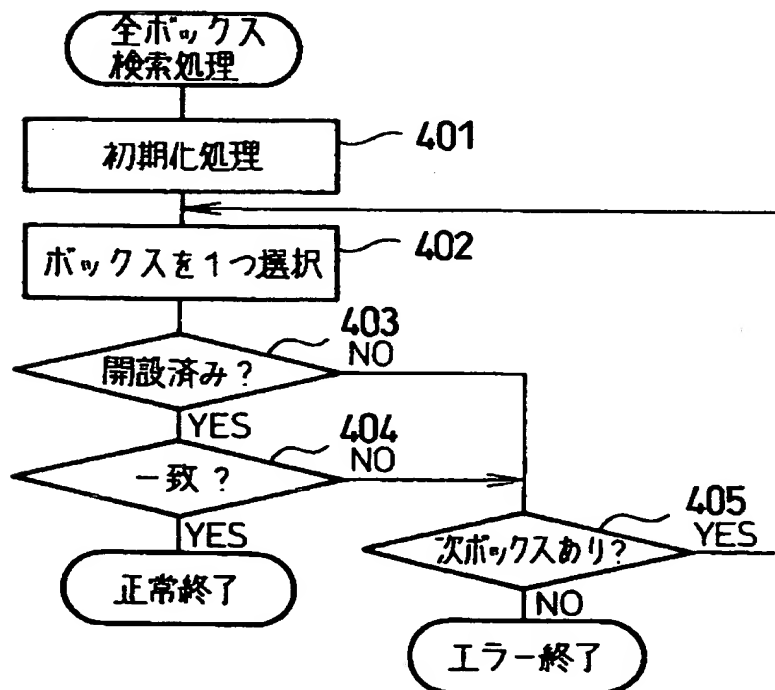
【図 18】



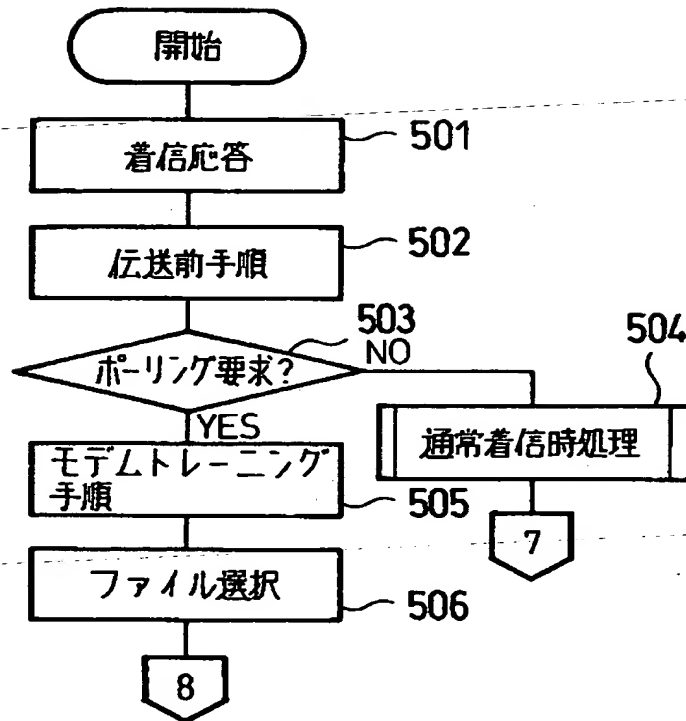
【図 19】



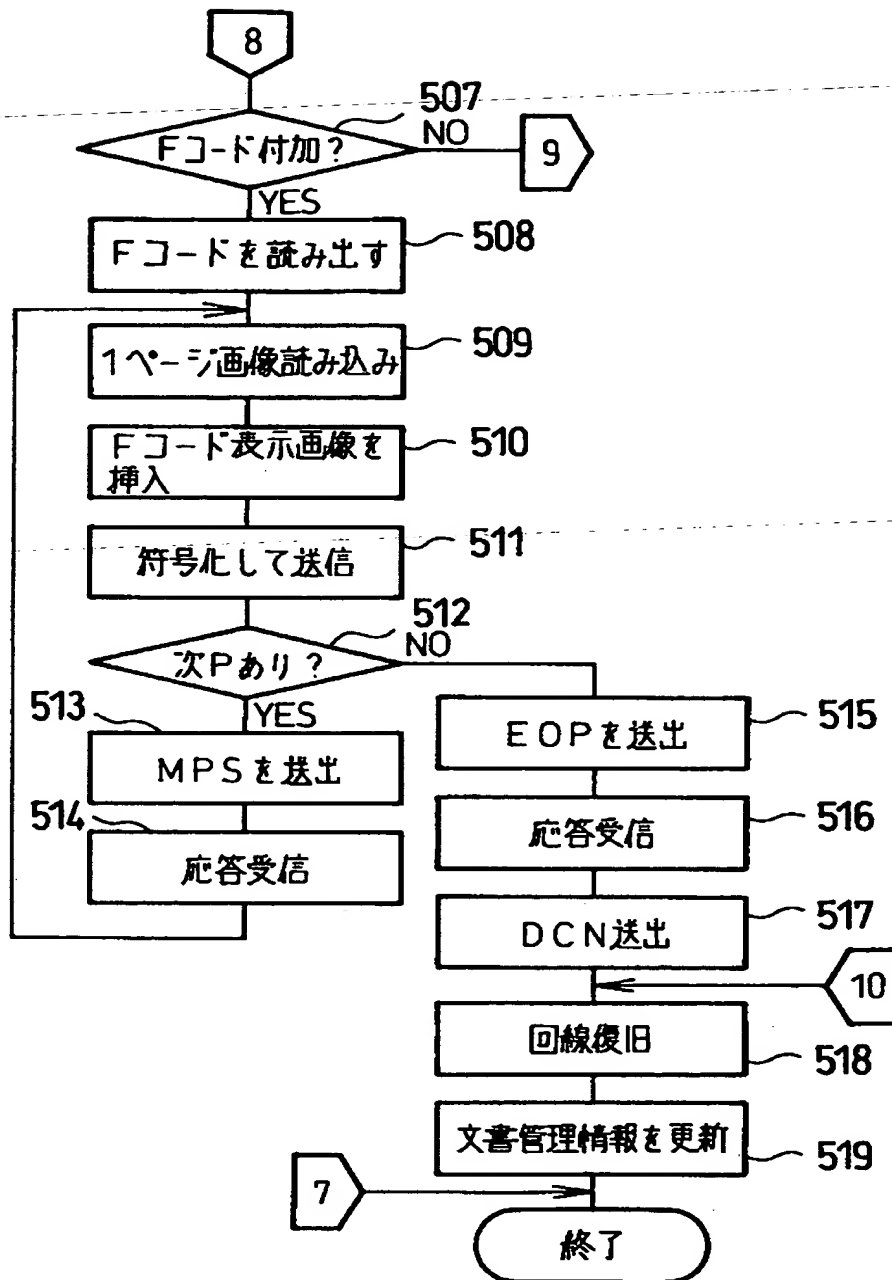
【図 20】



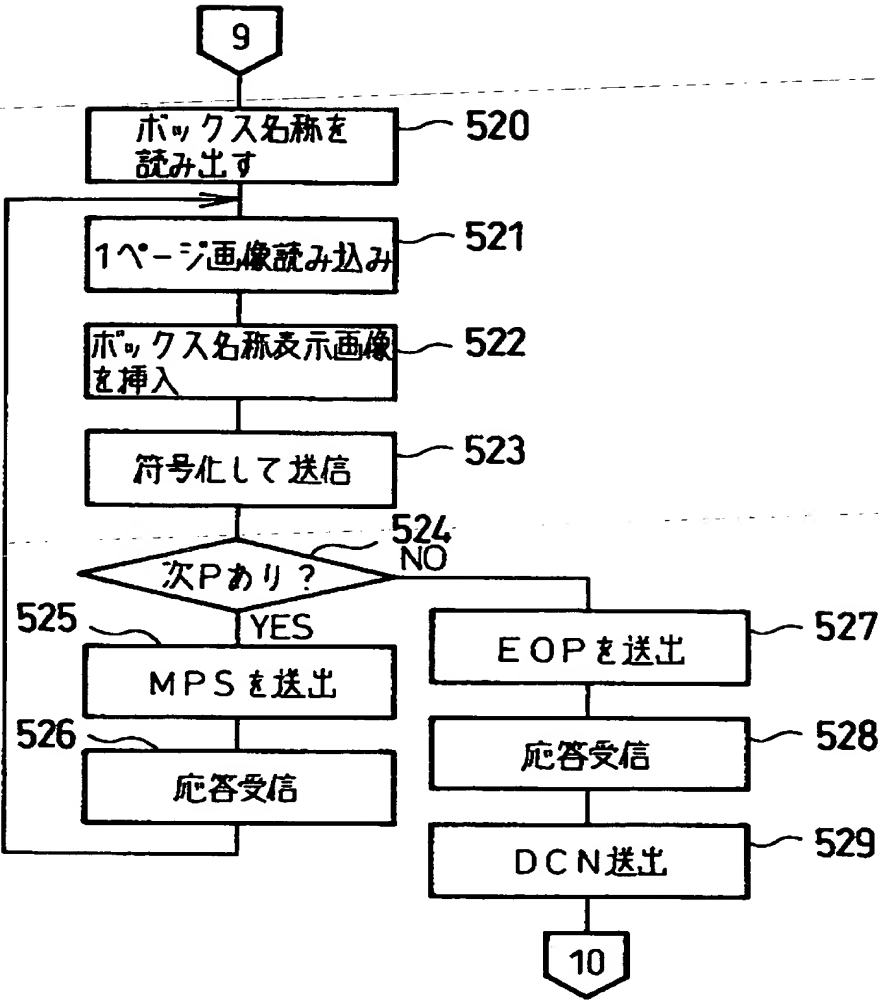
【図 2 1】



【図 22】



【図 2 3】



【図 2 4】

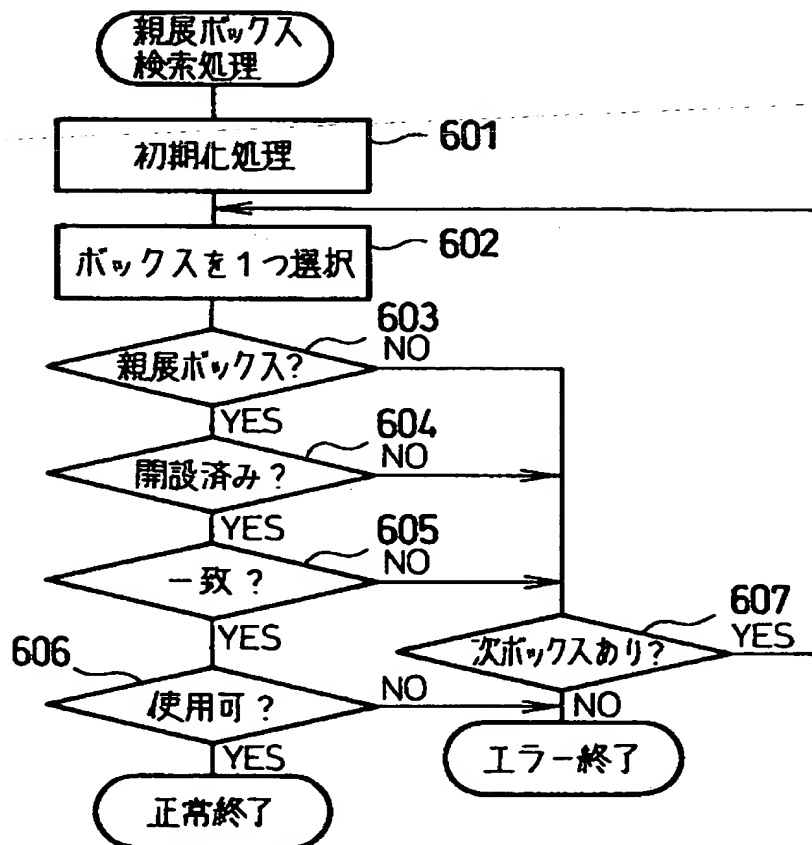
Fコード
パスワード
ボックス名称



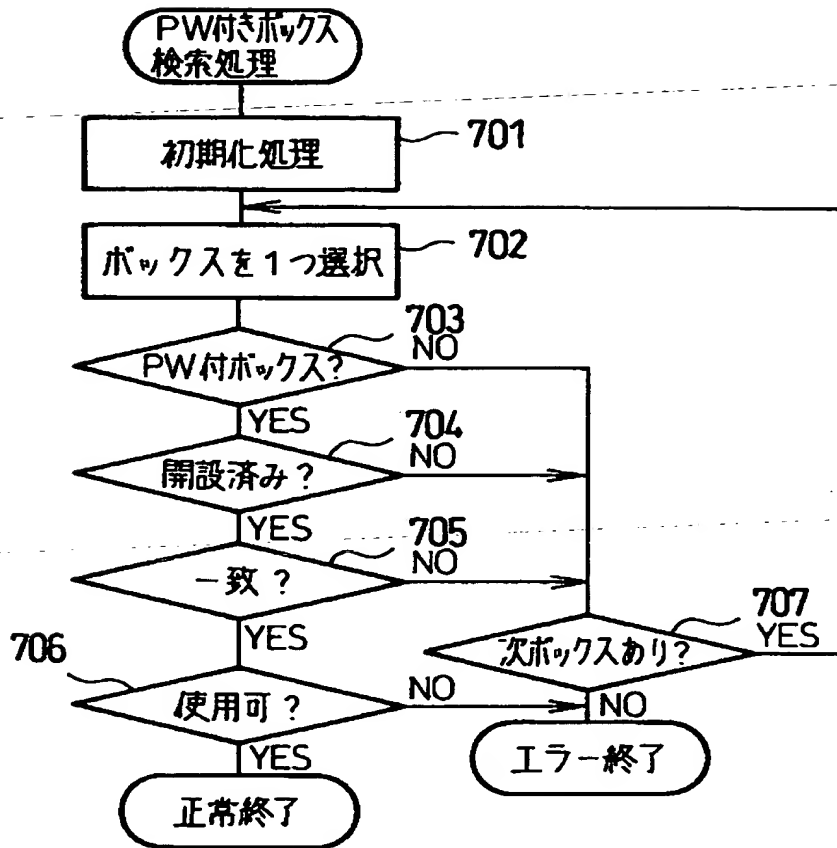
【図 2 5】

Fコード
パスワード
ボックス名称
ボックス種別
暗証番号の可否

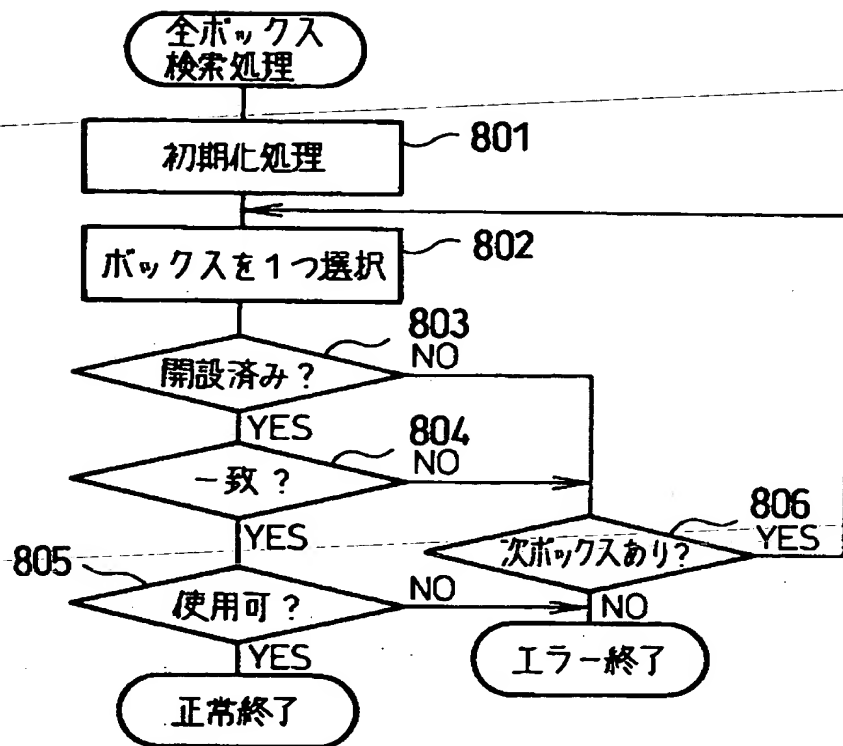
【図 2 6】



【図 27】



【図 28】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 装置コストを低減できるファクシミリ装置およびその制御方法を提供することを目的としている。

【解決手段】 主として受信動作に関連するボックス情報を用いて、送信操作時のユーザ制限などの際に適用するユーザ認証を行っているため、そのユーザ認証に必要な情報をさらに設ける必要がないので、システムメモリ等に必要なメモリ容量を削減することができ、装置コストを低減することができるという効果を得る。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号  
氏 名 株式会社リコー